

● 取組を推進するためのリーディングプロジェクト

北区まちづくりプラットフォーム

今まで以上に多くの区民の皆様に関わっていただき、総力を挙げて取り組んでいくため、アフターコロナ社会も考慮した新たなオンラインネットワークを、「学び合う／SALON」、「交ざり合う／CHAT」、「伝え合う／MEDIA」をキーワードに構築します。



リーディングプロジェクト

6つのリーディングプロジェクトを通じて、ライフステージ等ごとの取組アイデアを応援します。

船岡山を活かした魅力スポットの創出



地域インフルエンサーの発掘



北区民まちづくり提案支援事業 NEXT



スマートフォン教室の開催



北区「WA(わ)のこころ」創生事業 NEXT



【ニコニコ北っ子】つながるフェスタ NEXT



北区基本計画 [概要版]

～“つながり”の力で進めるまちづくり～

● 計画の位置づけ

北区基本計画は、京都市の未来像と主要施策を示す京都市基本計画を踏まえながら、北区の独自性や地域の視点から、北区のまちづくりを進めるために策定したまちづくりの指針です。北区の将来の姿や目指すべき方向性を、北区に関わる多くの皆様と共有することを目的としています。



● 目標年次

令和7(2025)年

● 策定経過

平成25年11月に設置された「京都市北区民まちづくり会議」において、策定に向けた議論を深めてきました。とりわけ、令和元年度には、4つの部会(①人口減少、②防災、③高齢化、④文化・観光)を設け、延べ350名のご参加のもと、約1,000件にも上るご意見や取組アイデアが寄せられました。

そうした議論を経て、「自分ごと」「みんなごと」のまちづくりの一層の推進を念頭に、“つながり”の大切さが実感できるよう取り組んでいくべきという方向性で計画をまとめることとなりました。

令和3年4月～5月には、パブリックコメントを実施し、114名の方から379件にも上るご意見・ご感想をいただき、最終的な計画をまとめました。

● 北区が目指すまちの将来像

豊かな自然の恵みと伝統ある文化の中で、人々がお互いに支え合い、活力を持っていきいきと暮らすまち

● まちの将来像を実現するための13の目標

次の13の目標を設定し、区民、各種機関、商店街、企業、大学、行政等多様な主体が一体となって、取組を進めていきます。

- 1 環境と共生した持続可能なまち
- 2 豊かな自然環境と共存するまち
- 3 すべての人権が尊重されるまち
- 4 区民主体で取り組む地域活動があるまち
- 5 健康で安心して暮らすことができるまち
- 6 安心安全なまち
- 7 障害がある人との交流があるまち
- 8 大学の力がいかされるまち
- 9 地域ぐるみで支え合う子育て環境のあるまち
- 10 災害に強く安心して住み続けられるまち
- 11 地域に根差した生涯学習・文化活動のあるまち
- 12 北区の特色ある産業をいかした活力あるまち
- 13 賑わいが生まれる拠点があるまち

● あらゆる世代と共に基本計画を推進するために

北区は、意欲的な地域交流行事や高齢者の見守り活動等、多様な主体が一体となった取組が進むなど、**地域コミュニティが持つ“つながり”が強いことに特色があります。**

一方、ライフスタイルや価値観の多様化などにより、地域活動との関わりが少ない方もおられます。それは“つながり”が強い北区においても、例外ではありません。

北区がこれからも暮らしやすく、魅力的なまちであり続けるためには、より多くの区民の皆様が自分ごととしてまちとの関わりを持つ、“つながり”の力によるまちづくりが重要です。

そこで、ここではより多くの区民の皆様がまちとの“つながり”を身近に感じ、まちづくりに参加してもらえるよう、「13の目標」の実現に向けた取組をあらゆる区民の皆様を包含する10のライフステージや属性ごとに再整理。区民の皆様からいただいたアイデアを具体的なアクションとして示しています。この計画を見たあらゆる世代の方々に興味・関心を持っていただき、自発的、自然発生的に計画が推進されるよう取り組んでいきます。

※「まち」とは、北区を範囲とした、そこに住む様々な人、各種機関、商店街、企業、大学、行政等多様な主体の相互の関係により生み出される、まちを育む「緩やかな連帯の場(ネットワーク)」を指すものであり、インフラなどの都市基盤を指すものではありません。

● 10のライフステージ等ごとの取組アイデア

まちは、各ライフステージや属性の区民の皆様との“つながり”を生むため、手を取り合っってこんなことに取り組みます。

<p>子ども世代</p> <p>家族のかたちや暮らしの変化、学業や習い事などの忙しさから、異なる世代の人と関わる機会が減っているが、成長していく中で未来に多くの可能性を秘めている世代</p> <p>まちの取組 様々な価値観と出会うように、北区の多様な人や場所、歴史、文化等に触れ合う機会をつくります。</p> <p>具体的なアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園、寺社等を遊びの場所として活用するなど、地域の資源をいかし、子どもが集まるきっかけをつくります。 児童館や地域で行われている子育てサロン、子ども食堂など、子どもが安心して集える居場所を増やします。 など 	<p>若者世代</p> <p>就職などで地域との関わりが薄れることも多いが、社会での新たな出会いや経験を積み重ね、自分の可能性を模索している世代</p> <p>まちの取組 情報や流行に敏感な若者が出会い、そこで生まれるアイデアが実現できるよう、同世代が集える機会をつくります。また、北区でのライフスタイルを知る機会をつくります。</p> <p>具体的なアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域への愛着の基礎となる、同級生同士のつながりの継続や、趣味や興味を通じた新たなつながりづくりなどを支援します。 地域の行事等を身近に感じ、安心して参加してもらうため、同年代の参加者の声を紹介します。 など 	<p>働き世代</p> <p>社会での経験を積み重ね、多様なスキルや趣味、特技などを身に付けているが、人生の様々な転機や責任、忙しさなどからストレスを抱えることも多い世代</p> <p>まちの取組 充実した生活を送れるように、楽しみながら関わることができる、仕事や家庭以外のコミュニティを提案します。</p> <p>具体的なアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の会議や活動などの時間短縮や役割の分散化など地域活動への負担を軽減し、多くの人が参加しやすい環境をつくります。 大学や文化施設等での講座やイベントを通じ、生涯にわたる学びや交流の機会をつくります。 など 	<p>高齢世代1</p> <p>仕事や子育ても一段落し、自分のために使う時間が増えてくる一方で、生活基盤の変化や介護などに悩むこともある世代</p> <p>まちの取組 これまでの社会での経験や特技をいかした出会いを育めるように、新たな居場所をつくります。</p> <p>具体的なアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> 自身の長年にわたる社会での経験や趣味、特技をいかせるよう、NPO・ボランティア団体の活動を紹介したり、地域活動に参加したくなるようなプログラムや仕組みをつくります。 生活上の様々な不安や悩みを和らげる交流の機会やネットワークづくりを進めます。 など 	<p>高齢世代2</p> <p>健康面への不安から、外出する機会や他人との接点が少なくなることもあるが、豊かな経験や知識を次世代に継承する世代</p> <p>まちの取組 心身の健康のために多くの人と関わり、まちで安心して暮らせるように、外出のきっかけづくりや災害等の有事の際にも安心できる体制をつくります。</p> <p>具体的なアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> スマートフォンの使い方教室などを開催し、高齢者もオンラインを活用して家族や地域と交流する機会を増やします。 気軽に通える場所で、スポーツや文化活動を通じた交流の機会を増やすなど、地域に安心できる場所を増やします。 など 
<p>大学生</p> <p>大学生活の中で学問や研究・アルバイト等の経験を重ねる一方、大学周辺の地域や北区について知る機会が少ない人たち</p> <p>まちの取組 在学中に北区の様々な人と交流し、北区に愛着を感じられるように、大学生と共に取り組む活動を充実させるとともに、北区に住み、働く機会につながる情報を伝えます。</p> <p>具体的なアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> 地蔵盆や夏祭り、学園祭などのイベントに、大学生と地域がお互いに参加できる機会をつくります。 地域企業や農林業など、北区にある身近な職業を体験する仕組みをつくることと、いきいきと働いている人のライフスタイルなどを紹介し、北区での就業につなげます。 など 	<p>子育てする人</p> <p>子育てを通じた新たな経験から、悩みごとや困りごとが増え、時間的にも余裕を持ちづらいつつ一方で、子育ての楽しさや経験を通じた、新しい視点を持つことも多い人たち</p> <p>まちの取組 子育てする人が悩みを共有でき、楽しく集えるような場所を増やせるように、まちに関わりたいと思える環境をつくります。</p> <p>具体的なアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> 急な用事への対応や息抜きの機会を確保できるよう、一時預かりなど地域で子育てをサポートする仕組みを充実します。 子育てによる不安や悩みを和らげるための交流の機会やネットワークづくりを進めます。 など 	<p>北部山間地に暮らす人</p> <p>まちなかから近く、豊かな自然に囲まれた暮らしを送る一方、急激な人口減少が進みつつある北部山間地に暮らす人たち</p> <p>まちの取組 地域内外の交流が円滑に行われるよう多くの人に北部山間地へ足を運んでもらう機会を創出し、地域の魅力を発信します。</p> <p>具体的なアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> 北部山間地以外に住む人が参加しやすいイベントなどを実施し、関係人口を増やします。 大学や自然活動団体等と連携するなど、自然と人の関わりや山村の暮らしを学び、体験できるようなイベントを実施します。 空き家や休耕田、山林の新たな可能性を検討し、移住者の受け入れを促進します。 など 	<p>障害のある人</p> <p>障害について、人と共有する機会が少なく、苦勞を重ねつつも、様々な課題を乗り越えて暮らす人たち</p> <p>まちの取組 障害のある人が抱える生活の中での不安が軽減されるように、様々な機会を通じて交流を生み、地域での対話の機会を増やします。</p> <p>具体的なアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の生活の中で、地域に住んでいる障害のある人に気軽に話しかけ、サポートできる雰囲気をつくります。 障害者福祉施設と地域が連携し、施設の活動に地域が参画できる機会を増やします。 など 	<p>外国から来た人</p> <p>観光や仕事、留学などで日本に訪し、多様な文化的背景を持ちあわせているが、言葉や文化等の違いから、地域や人との接点が少ないことで不安もある人たち</p> <p>まちの取組 互いの文化を理解し尊重し合えるように、イベント等を通じた、参加や交流を促す工夫をします。</p> <p>具体的なアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人同士のネットワークと地域の接点をつくります。 大学、日本語学校、地域企業など外国から来た人が通う施設と連携しながら、日本と外国の文化をお互いに紹介するような機会をつくり、異文化交流を促進します。 など 